

情報連絡員だより

ー平成 27 年 9 月分の報告よりー

厳しい状況は変わらず
今後の海外経済の先行きを懸念

業 種 / 景 況 天 気 図			概 況
全 体			シルバーウィークや各イベントで明るい兆しが見られた業種もあったが、全体の景況としては非常に厳しい状況が続いている。国内だけではなく、中国経済低迷やVW排ガス不正問題等で海外経済の先行きが懸念される。
製 造 業 	食 料 品		菓子はお彼岸・敬老の日・十五夜などのイベントが多く好調に推移。製麺は 8 月後半から続く天候不順の影響もあり、乾・生麺とも荷動きは低調で、厳しい状況は変わらず。酒造は本醸造酒が前年比 1 割程減少した。
	繊維・同製品		桐生織物は「桐生織姫展」や七五三関連での和装織物の売上に期待。伊勢崎織物は伊勢崎銘仙の認知度は高まっているが、消費には結びついていないのが現状で、原材料の高止まり等厳しい経営環境が続いている。
	窯業・土石製品		コンクリート製品は県内の大型事業も一段落し、先行き不透明。コンクリートブロックは長雨により出荷状況はあまり良くない。生コンは全県的に落ち込みが目立つ。砕石は地域間格差が大きいが、例年並みに推移。
	機 械 ・ 金 属		太田地域は富士重工北米工場の生産稼働を控え、減産見込みの企業もあり、影響を懸念。館林地域は中国経済減速から中国向け輸出が大幅に落ち込む。大利根団地は電機関連のコストダウン要請が多く対応に苦慮。
	その他の製造業		製材は荷動きが特定商品のみで、収益の悪化が続く。ゴムは新規分野への製品開発を進める企業が散見される。印刷は依然続く原材料の値上げや国内需要の減少による稼働率の低下により、厳しい状況が続いている。
非 製 造 業 	卸 売 業		卸団地は新卒者獲得に苦戦し、人材確保が今後の課題。農産物卸は豪雨や台風など天候不順による品不足により、野菜・果実ともに高値が続く。水産物卸は旬サンマの入荷が少なく、売上に大きな影響がでている。
	小 売 業		家電小売は冷蔵庫・洗濯機が好調。燃料小売は販売価格が原油安の影響から前年比 30 円/ℓ 以上値下がり、売上減少。生花小売はお彼岸・敬老の日・ウェディングがシルバーウィークに集中し、店舗に活気が戻る。
	サ ー ビ ス 業		四万温泉はシルバーウィークや中之条ビエンナーレの見学者で宿泊・日帰りともに増加。伊香保は旅館により明暗を分ける。不動産取引は吾妻郡地域では総じて低調で、売買・賃貸ともに取引件数が減少し苦戦が続く。
	建 設 業		建築工事は工事量が減少傾向の中、地域密着型の企業の衰退により災害時等の対応を懸念。塗装工事は学校や県営住宅の改修工事の発注があったが、一般住宅の塗り替え等が前年比 7 割程度となり、全体の売上高も減少した。
	運 輸 業		荷動きは低調の中、一部、車両不足により運賃が若干値上がりした一方、まだ値下げを打診する荷主もいる状況。小口輸送は食料品・建材関係の動きが少々良く、遠方輸送も増加したことから売上高・件数ともに増加。